

令和 5 年度

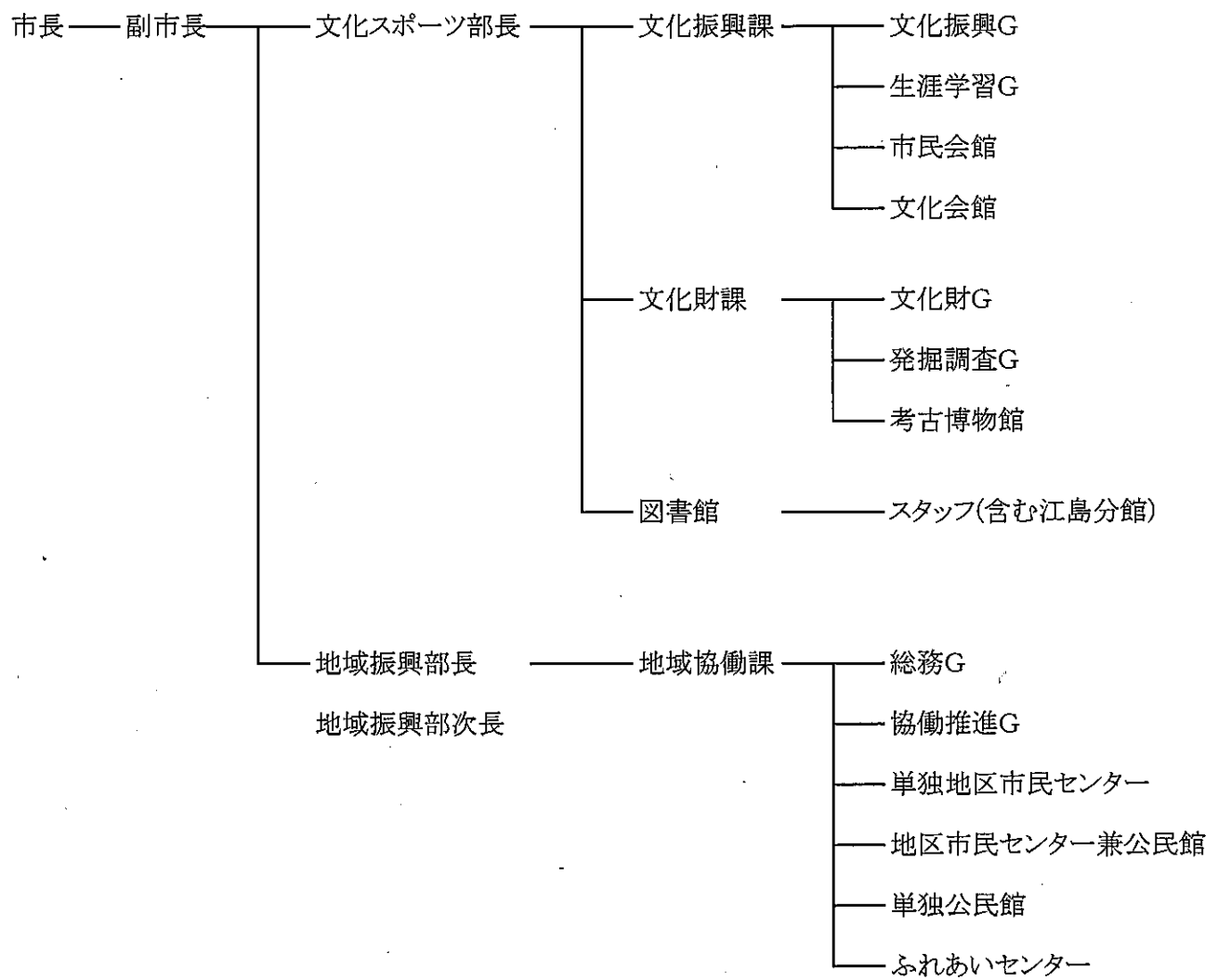
第 1 回鈴鹿市社会教育委員会議資料

令和5年10月30日

社会教育部門

目	次	ページ
1 社会教育部門組織図	・・・	1
2 文化振興課	・・・	2
3 文化財課	・・・	4
4 図書館	・・・	6
5 地域協働課	・・・	8
6 社会教育基本計画2023	・・・	10

1 社会教育部門組織図



文化スポーツ部 文化振興課

1 職員数

令和5年6月1日現在

グループ名	職名	事務		技術	その他職員			パートタイム 雇用	計
		事務	教員	電気	学芸員	司書	その他		
課長		1							1
文化振興グループ		2		1					3
生涯学習グループ		2	1						3
市民会館		2					3	1	6
計		7	1	1			3	1	13

※文化会館は施設改修のため令和4年度より休館中。再開は令和6年度を予定。
なお、文化会館業務については市民会館職員3名が兼務。

2 事務分掌

グループ	事務内容
文化振興グループ	○文化政策の総合的企画及び調整に関する事 ○文化行政の調査研究に関する事 ○文化振興事業の企画及び実施に関する事 ○文化情報の提供に関する事 ○文化関係団体に関する事 ○(公財)鈴鹿市文化振興事業団に関する事 ○市民会館に関する事 ○文化会館に関する事
生涯学習グループ	○社会教育委員に関する事務の補助執行 ○社会教育関係団体に関する事務の補助執行 ○生涯学習の推進に関する事務の補助執行
市民会館	○市民会館の管理運営に関する事 ○市民会館の使用料の徴収に関する事 ○文化会館の管理運営に関する事 ○文化会館の使用料の徴収に関する事

3 令和5年度主要事業

項 目	概 要	備 考
市民学習活性化事業費	①市民アカデミー「まなベル」 市内高等教育機関4校と連携し、市民に学びの楽しさを実感いただくと共に、学習意欲の向上を図るために開講する。 ・鈴鹿大学 1 講座 ・鈴鹿大学短期大学部 1 講座 ・鈴鹿医療科学大学 2 講座 ・鈴鹿工業高等専門学校 2 講座 合計6講座 各講座定員50名 ②第4次鈴鹿市子ども読書活動推進計画の策定 現計画「第3次鈴鹿市子ども読書活動推進計画」の計画期間が令和5年度に終了するため、次期計画づくりを行うための委託費。 【予算額】3,790千円	実行計画 1- (1) -① 1- (1) -③
鈴鹿市二十歳のつどい事業費	対象者：2,060人 令和5年4月1日現在 (平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの方) 開催日：令和6年1月7日(日) 場 所：イスのサンケイホール鈴鹿 式典内容は対象者の中から公募する「二十歳のつどい実行委員会」と協議のうえ決定する。 【予算額】2,772千円	実行計画 1- (1) -②
社会教育関係団体支援費	下記5団体が実施する青少年健全育成事業に対し、事業費の一部を補助する。 ① 鈴鹿市青少年育成市民会議 ② 鈴鹿市子ども会連合会 ③ 日本ボーイスカウト鈴鹿地域連絡協議会 ④ ガールスカウト鈴鹿地区連絡会 ⑤ 鈴鹿ジュニアリーダー会 【予算額】2,643千円	実行計画 2- (1) -①②
地域家庭教育支援事業費	①放課後子ども教室(文部科学省所管) 地域住民の協力を得て、各小学校区における放課後の子どもたちの安全安心な居場所づくりのため、公民館等を主会場に6小学校区(清和・郡山・白子・明生・井田川・河曲)で実施する。 ②土曜体験学習 地域住民の協力を得て、子どもたちの土曜日における多様な学習環境づくりのため、1小学校区(鼓ヶ浦)で実施する。 ③親なびワーク 家庭教育支援として、保護者等を対象とした訪問型ワークショップを開催する。 【予算額】3,320千円	実行計画 2- (1) -③④ 2- (1) -③④ 2- (1) -⑤

文化スポーツ部 文化財課

1 職員数

令和5年6月1日現在

グループ名	職名	事務		技術	その他職員			パートタイム 雇用	計
		事務	教員	電気	学芸員	司書	その他		
課長		1							1
文化財グループ		3	1		2			14	20
発掘調査グループ		3						5	8
考古博物館		4			1		2	5	12
計		11	1		3		2	24	41

2 事務分掌

グループ	事務内容
文化財グループ	○文化財の指定に関する事務の補助執行 ○文化財の調査、保護及び活用に関する事務の補助執行 ○文化財関係団体に関する事務の補助執行 ○文化財関係施設に関する事務の補助執行 ○鈴鹿市文化財調査会に関する事務の補助執行 ○埋蔵文化財の発掘等調査に関する事務の補助執行
発掘調査グループ	○埋蔵文化財の発掘等調査に関する事務の補助執行 ○出土遺物等の整理に関する事務の補助執行 ○伊勢国府跡の整備に関する事務の補助執行
考古博物館	○考古博物館の管理運営の補助執行 ○考古博物館の観覧料及び使用料の徴収に関する事務の補助執行 ○考古博物館の企画及び統計に関する事務の補助執行 ○考古博物館の広報宣伝に関する事務の補助執行 ○考古博物館資料の寄贈寄託に関する事務の補助執行 ○考古博物館の施設の使用許可に関する事務の補助執行

3 令和5年度主要事業

項 目	概 要	備 考
一般文化財保存・活用費	重要無形文化財「伊勢型紙」の技術保存、後継者育成に係る事業補助等を行う（８９５千円）。 文化財の保存と活用を図るため、現況調査を実施するとともに、指定文化財の管理補助を行う（１２，７２３千円）。 【予算額】１３，６１８千円	実行計画 3-（１）-④ 3-（１）-②
遺跡調査費	史跡伊勢国府跡（広瀬町）の規模や構造等を明らかにするための調査を実施する。また、市内遺跡の保存と活用を図るため発掘調査を実施する。 【予算額】１４，２８６千円	実行計画 3-（１）-⑤
文化財保存活用地域計画作成事業費	地域の文化財（未指定含む）について、総合的に調査、把握、リスト化し、保存・活用等を図るための計画書を令和２年から令和６年で作成する。 【予算額】１６５千円	実行計画 3-（１）-①
資料館等	各資料館・記念館において、収蔵資料の保存と活用を図り、それぞれの施設の特性に応じた展示や事業を企画し、来館者数の増加を図る。 [直営施設] 大黒屋光太夫記念館 佐佐木信綱記念館 鈴鹿市稲生民俗資料館 伊勢型紙資料館 庄野宿資料館 【予算額】２１，４７８千円	実行計画 3-（２）-①
博物館/管理運営費	博物館資料の活用を図り、郷土の歴史や考古学への関心と理解を深めてもらうため各種事業を実施する。 ①特別展 「この縄文土器はどこから来たの？」 ②企画展 「濠をめぐらした弥生のムラ」 ③速報展 「発掘された鈴鹿２０２３」 ④講演会 ・寺院・官衙シリーズ講演会 ・博物館入門講座 ・遺跡の歩きかた ⑤体験講座 ・勾玉作り ・つるカゴ作り、草木染め、とんぼ玉作り ・ゴールデンウィーク体験、夏休み子ども体験博物館 ・出前講座 ④集客イベント ・伊勢国分寺まつり 【予算額】２６，９０７千円	実行計画 3-（２）-①

文化スポーツ部 図書館

1 職員数

令和5年6月1日現在

グループ名	職名	事務			その他職員			パートタイム 雇用	計
		事務	教員	電気	学芸員	司書	その他		
館長		1							1
スタッフ制		4				12	4	10	30
計		5				12	4	10	31

2 事務分掌

	事務内容
スタッフ制	○図書館の企画及び統計に関する事務の補助執行 ○施設及び設備の運営及び維持管理に関する事務の補助執行 ○図書館の広報宣伝に関する事務の補助執行 ○図書館の関係団体に関する事務の補助執行 ○図書その他資料(以下「資料」という)の閲覧及び貸出返却に関する事務の補助執行 ○資料の調査及び研究の相談に関する事務の補助執行 ○読書案内及び読書相談に関する事務の補助執行 ○読書会, 研修会, 講演会, 資料展示会等の実施に関する事務の補助執行 ○資料の選択, 収集及び更新に関する事務の補助執行 ○配本事業に関する事務の補助執行 ○資料及び目録の整備に関する事務の補助執行 ○資料の保管に関する事務の補助執行 ○資料管理システムに関する事務の補助執行 ○視聴覚機材及び教材に関する事務の補助執行 ○資料の廃棄に関する事務の補助執行 ○江島分館に関する事務の補助執行 ○鈴鹿市立図書館協議会に関する事務の補助執行

3 令和5年度主要事業

項 目	概 要	備 考
維持修繕費	本館の維持修繕を行う。 【予算額】 5 1 9 千円	実行計画 1- (2) -③
施設管理費	本館施設及び設備の保守点検に努める。 【予算額】 7, 5 8 4 千円	実行計画 1- (2) -③
運営・サービス事業費	多くの市民に図書館を利用していただくために「鈴鹿市立図書館サービス推進方針」に基づき各種の事業を実施する。 ① 図書館の情報提供サービスの充実 図書館ホームページによる資料の検索、インターネット予約及び貸出状況確認などの利用促進と運用の充実を図り、各種イベントの周知を含めた情報提供サービスを実施する。 ② 各種イベントの実施 各種イベントや利用促進活性化事業のほか、ボランティア団体をはじめ関係機関との連携事業を実施し、だれもが参加しやすいイベントを実施する。 ③ 森林環境譲与税充当事業として、森林づくりの必要性和税のしくみについて学ぶ機会を提供し、三重県産材を使用した備品に刷新し居心地の良い空間を提供する。 【予算額】 1 7, 9 9 8 千円	実行計画 1- (2) -② 1- (2) -⑤
図書購入費	多様化するニーズへの対応を図りながら計画的な図書資料の収集を行い、学びと課題解決を支援する。 【予算額】 2 2, 3 5 0 千円	実行計画 1- (2) -①
地域サービス事業費	全公民館（ふれあいセンターを含む31館）及び農村環境改善センターの図書室及び図書コーナーに、図書館の本を配本し、各施設での閲覧及び貸出しにより地域住民の利便性を図る。 併せて、図書館職員が各公民館を2週間毎に巡回する「ふれあいライブラリー」を実施する。 なお、利用者増を図るため、公民館と連携し事業の充実を図る。 【予算額】 2 8 9 千円	実行計画 1- (2) -④
分館費	江島分館を管理運営を行う。 【予算額】 6, 2 2 4 千円	実行計画 1- (2) -③
ボランティア活動事業費	図書館ボランティアを育成するために、各種の研修会を開催しボランティアを育成する。 【予算額】 1 2 0 千円	実行計画 1- (2) -⑥

地域振興部 地域協働課

1 職員数

令和5年6月1日現在

グループ名 職名	事務		その他職員			パートタイム 雇用	計
	事務職員	労務員	館長 (非常勤)	司書	その他		
課長	1						1
総務グループ	5				2	1	8
協働推進グループ	5						5
単独地区市民センター(2)	6				4	1	11
地区市民センター兼公民館(20)	41	2			44	7	94
単独公民館(10)			10		10	10	30
ふれあいセンター(1)			1		3	1	5
計	58	2	11		63	20	154

※育児休業中職員を含む。

2 事務分掌

グループ・役職	事務内容
総務グループ	○地域振興政策の総合的企画及び調整に関する事 ○地区市民センターに関する事 ○コミュニティセンターに関する事 ○自治会に関する事 ○神戸地区との連絡調整に関する事 ○公民館及びふれあいセンターに関する事務の補助執行 ○鈴鹿市公民館運営審議会に関する事務の補助執行
協働推進グループ	○協働の推進に関する事 ○地域づくり協議会に関する事 ○市民活動団体に関する事

3 令和5年度主要事業

項 目	概 要	備 考
森と緑の生涯学習事業	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を活用し、公民館において「森と緑の生涯学習講座」を実施。小学生を中心に学習活動を通じて、森や緑を大切に思う人づくりを進める。 【予算額】770千円	実行計画 4-(1)-②
公民館運営委託事業	公民館運営委員会（2館）に対し、地域特性や住民ニーズに応じた生涯学習事業の実施を委託する。各公民館が実施する各種講座開設にかかる経費（講師謝金、消耗品等） 【予算額】544千円	実行計画 4-(1)-①
公民館施設整備事業	○天名公民館建設関係 天名公民館・天名地区市民センターの建替に伴う外構工事及び備品購入費等 【予算額】24,780千円	実行計画 4-(1)-③

社会教育基本計画 2023

令和2年度～令和5年度

社会教育の目指す姿「人と文化を育み、心豊かに過ごしていること」

- 【社会教育の基本目標】
- 1 自ら学び、広げる生涯学習活動の推進
 - 2 教育環境の充実
 - 3 文化財保護の推進
 - 4 住民主体の地域づくりの推進

令和5年度 実行計画

1 自ら学び、広げる生涯学習活動の推進

(1) 学び、生かす生涯学習の推進

市民が自ら学び、活動できるように学習情報や学習機会を提供する。

- ① 学官連携を通じて、専門的な学習ニーズに対応できる学習機会を提供する。
- ② 20歳で構成する実行委員会の主体的な運営による二十歳のつどいを開催し、二十歳の門出を祝い励まし、大人としての責任と自覚を促す機会とする。
- ③ 第4次鈴鹿市子ども読書活動推進計画の策定をする。

指標：学官連携による専門的な学習事業への参加者数

目標値(令和5年度)：300人

現状値：112人(令和4年度)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値	207人	123人	122人	112人	

※令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため定員を210人として募集

(2) 図書館サービスの充実

市民の自己実現活動や地域活動、社会・経済活動を支援する「知識と情報の拠点」となるよう図書館サービスを充実する。

- ① 多様化するニーズへの対応を図りながら蔵書管理を行い、新たな発見や楽しみにつながる学びを支援する。
- ② 市民が利用しやすい学びや交流の場を提供する。
- ③ 施設の長寿命化を図り、利用者が使いやすい施設整備を計画的に行い、効率的・効果的な運営を行う。
- ④ 地域の特性に合わせた配本サービスを提供するため、地域サービス事業の充実を図る。
- ⑤ 家庭・地域・学校と連携し、子ども(0歳～18歳)を取り巻く読書環境を整備する。
- ⑥ 読書ボランティアや市民団体などと連携し、読書や学習活動を充実させるとともに、活躍の場を提供するなどの支援を行う。

指標：市民一人当たりの年間貸出冊数

目標値(令和5年度)：3.8冊

現状値：3.2冊(令和4年度)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値	3.2冊	2.7冊	3.1冊	3.2冊	

2 教育環境の充実

(1) 地域資源を生かした学習環境の充実

地域の教育力を生かし、子どもたちの家庭や地域における学習環境を充実する。

- ① 社会教育関係団体の独自性を生かした青少年の健全育成活動を支援する。
- ② 社会教育関係団体とともに鈴鹿市青少年対策推進連絡調整会議の活動を推進する。
- ③ 公民館・地域・学校が連携し、体験活動や奉仕活動を幅広い世代を通して行い、互いの交流を図る。
- ④ 地域住民の協力を得て、公民館などにおいて児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる居場所づくりと豊かな学習環境づくりを推進する。
- ⑤ 訪問型ワークショップ形式で保護者同士の交流の場を提供しながら、家庭教育の支援をする。

指標：地域のボランティアが主体となって企画、運営する放課後子ども教室、土曜体験学習の教室数

目標値(令和5年度)：9教室

現状値：7教室(令和4年度)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値	7教室	7教室	7教室	7教室	

3 文化財保護の推進

(1) 文化財の調査と保存

文化財を貴重な歴史的遺産として次世代に引き継いでいくため、その保存に努めるとともに、調査・研究を進め、指定・登録文化財の拡充を図る。

- ① 市内に残る歴史・文化遺産の現況調査を行う。
- ② 指定文化財の保存を図るため、所有者等への支援を行う。
- ③ 天然記念物「金生水沼沢植物群落」の保護増殖を推進するため調査を行う。
- ④ 重要無形文化財「伊勢型紙」製作技術の保存を図るため、伊勢型紙技術保存会への支援を行う。
- ⑤ 史跡「伊勢国府跡」の適切な保存のため、範囲確認調査を実施するとともに、住宅建築等に伴う市内遺跡の発掘調査を行う。

指標：文化財の保護措置件数

目標値(令和5年度)：42件

現状値：44件(令和4年度)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値	40件	50件	36件	44件	

(2) 文化財の公開と活用

文化財を地域資源として活用し、歴史と文化に親しむ機会を提供するとともに、文化財を生かした魅力ある地域づくりを展開する。

- ① 考古博物館(史跡伊勢国分寺跡歴史公園)や資料館・記念館における展示・講座等活用事業の充実を図る。
- ② 天然記念物「金生水沼沢植物群落」の保護啓発のため、季節ごとの自然観察会を開催する。

指標：文化財や郷土資料・博物館資料等公開施設の来館者数及び啓発事業などへの参加者数

目標値(令和5年度)：33,000人

現状値：21,005人(令和4年度)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値	24,961人	12,749人	14,904人	21,005人	

4 住民主体の地域づくりの推進

(1) 公民館事業の充実と適切な管理運営

公民館などで行っている学習活動の内容を充実し人材育成に努め、学習成果が生かされた質の高い地域づくりを推進する。

- ① 地域における生涯学習及びまちづくりの拠点施設として、住民参画の視点での公民館運営を推進する。
- ② 地域活性化を図る学習活動を推進する中でボランティアやリーダー的人材の育成を図る。
- ③ 公民館の施設を効率的に運営し、長寿命化を図りながら整備を推進する。

指標：公民館などで行っている学習活動への年間参加者数

目標値(令和5年度)：279,000人

現状値：188,960人(令和4年度)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値	256,616人	139,951人	124,816人	188,960人	

※指標と目標値は、鈴鹿市総合計画2023後期基本計画と同じものを用いています。